

がん検診 知っておきたいこと

★がんは死亡原因の第一位

日本では生涯に**2人に1人**が**がん**にかかると推計されています。がん検診で早期発見・早期治療！！

健康と安心のために
がん検診を受けましょう

★がん検診の目的

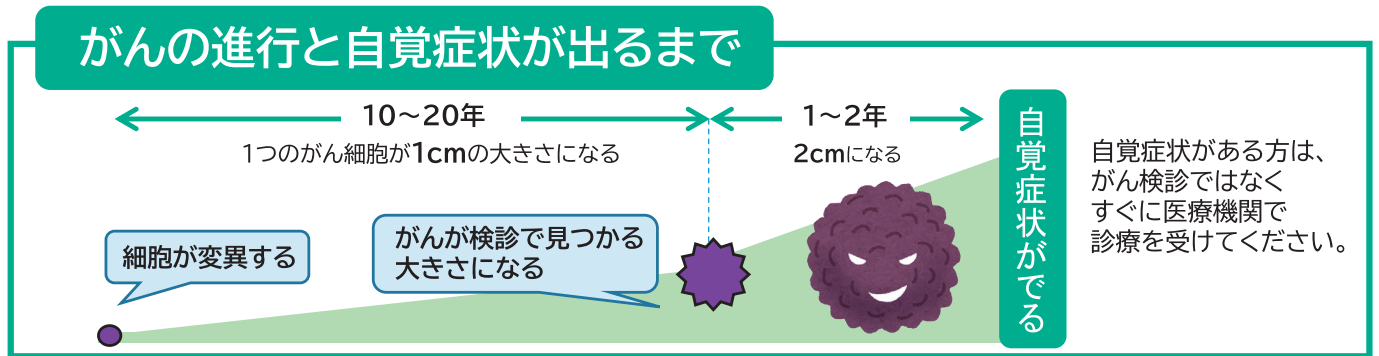
がんを無症状のうちに早期発見・早期治療し、がんで亡くなることを防ぐことです。早期発見できれば治せる可能性が高く、治療も軽くすむことが多いです。



★検診は症状のない人が対象

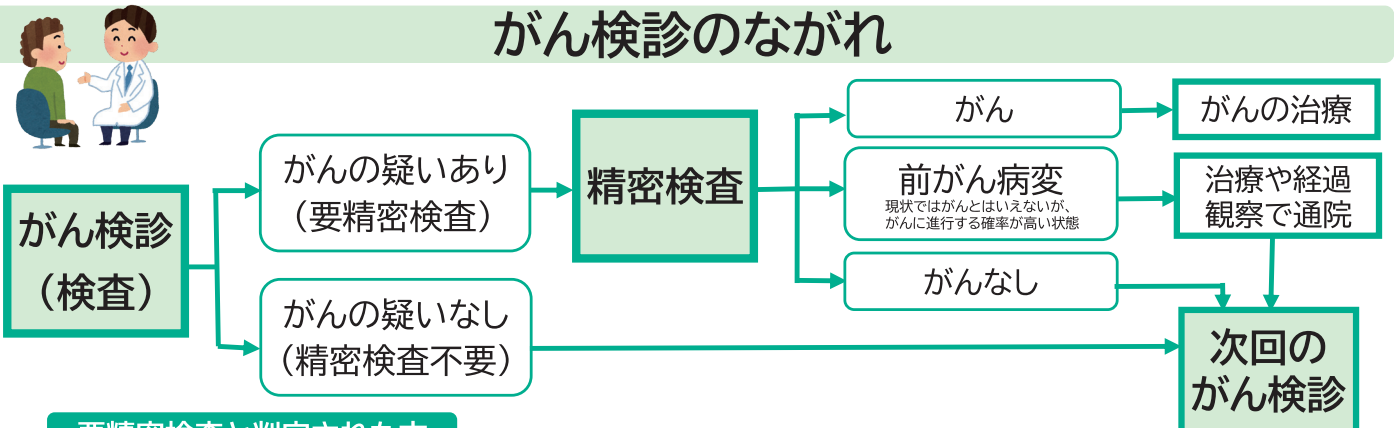
自覚症状がある場合は、すぐに医療機関で診療を受けましょう。すでに症状がある人は保険診療となり、がん検診は対象外です。

★定期的な検診が、がんの**早期発見**につながります



参考:文部科学省「がん教育推進のための補助教材」

がん検診のながれ



要精密検査と判定された方

がん検診を受けて、「要精密検査」と言われたら、精密検査を受けることが必要です。自覚症状がないがんもありますので自覚症状がなくてもすぐに医療機関を受診しましょう。(検査料、治療費は保険診療扱いとなり、別途費用が必要です。)

精密検査医療機関 → → **三重県がん検診精密検査登録医療機関** 検索

<https://www.pref.mie.lg.jp/KENKOT/HP/000118956.htm>



がん検診の4つの注意事項

- すでに症状のある人は、すぐに医療機関を受診**
すでに気になる自覚症状がある人は、がん検診を受けるのではなく、すぐに医療機関で診療を受けてください。
- すぐに医療機関で精密検査を受けること**
がん検診の結果、「要精密検査」となった場合は、必ずすぐに医療機関で精密検査を受けてください。その際は検診結果をお持ちください。
- 繰り返しがん検診を受けること**
がんは1回の検診で見つからないこともありますので、適切な間隔で検診を繰り返し受けることが大切です。
- 症状が現れたらすぐに医療機関へ**
検診結果に異常がなくても、検診の後に何らかの症状が現れたら、次の検診まで待たずにすぐに医療機関で診療を受けてください。

★受診間隔については検診医にご相談ください。

検診のメリット・デメリット

がん検診の最大の利益(メリット)は、**早期発見・早期治療により命を守ることができる**ことです。

一方で下記のような不利益(デメリット)もあります。

- ・がんの大きさや種類などによっては見つけづらいうことがあり、100%がんが見つかるわけではありません。(偽陰性)
- ・がんがないにも関わらず、がんがあるかもしれないと診断されることがあります。(偽陽性)
- ・生命に影響しないがんが発見され、治療される場合があります。(過剰診断)
- ・検診や精密検査での医療行為による合併症が起こる場合があります。(偶発症)

